

巻頭言

北海道支部支部長 杉 浦 忍

絆を開いていただきありがとうございます。新しい年を迎えることができ喜びの内にあります。

患者である私は日常の生活の何をするにも誰かに支えられている事を痛感しております。皆さま方におかれましても、ほんの小さな事でも、満たされる様に願っております。

更にご家族の皆様の献身的な、まごころの込められた介助に感謝致します。お疲れの時はどうぞ訴えて流してくださいね。

更にお仕事として私達に携わる方々、どうぞ日々の中であなた様ご自身が介護の仕事を通して満たされます様に願うばかりです。モチベーションを上げるのは自分の為だけではなく利用者である私達ひとりひとりへの思い、更に一緒に暮らす家族へのほんのすこしの優しい気持ちかと存じます。これからも変化していく私達とより深いところで繋がってくださいます。

ご遺族の方々におかれましては、思い出の内に大切にされながら穏やかに過ごされます様、願っております。

Honto wa ne!!

このところお腹がすくんです。

NHK BS で「柿食へば 鐘が鳴るなり 法隆寺」と詠んだ正岡子規は肺病と闘うために、たくさん食べたそうです。

途中 ALS の患者さんが、どちらのお酒にしますか？と味見されてました。良いですね。皆さまも食べたいものは食べられるうちに、嚥下がすすんできても 周りの方々の工夫で、すでに召し上がれない方は別の方法で、満たされます様に願っております。

福は一うち 豆をまくのは 私のころ

対句 ほんとはね!! お豆ぼりぼり 食べたいの…

皆さま ご自愛くださいませ。